

第1章 中央市の現状

1. 人口及び国民健康保険被保険者数

(1) 中央市の人口の状況

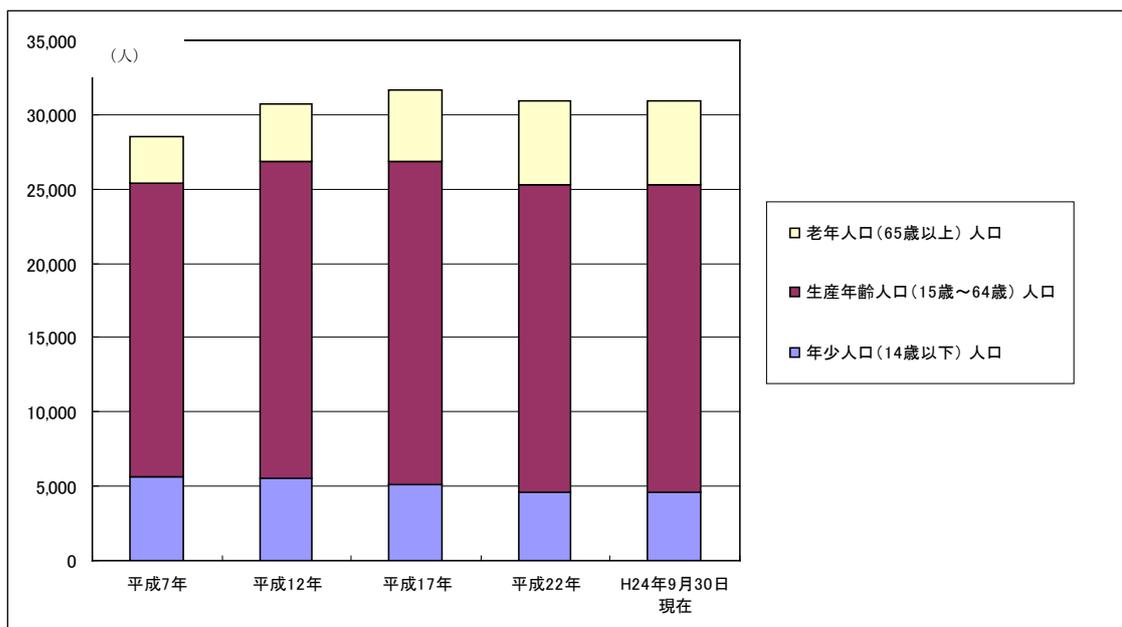
中央市の人口は、平成 22 年の国勢調査によると 31,322 人であり、14 歳以下の年少人口は 4,640 人（14.8%）で年々減少傾向にあり、逆に 65 歳以上の老年人口は 5,638 人（18.0%）で年々増加傾向にある。15 歳から 64 歳の生産年齢人口は、全体の 2/3 を占めているものの、今後はますます少子高齢化が進むことが予想される。

〔表 1〕 人口の推移

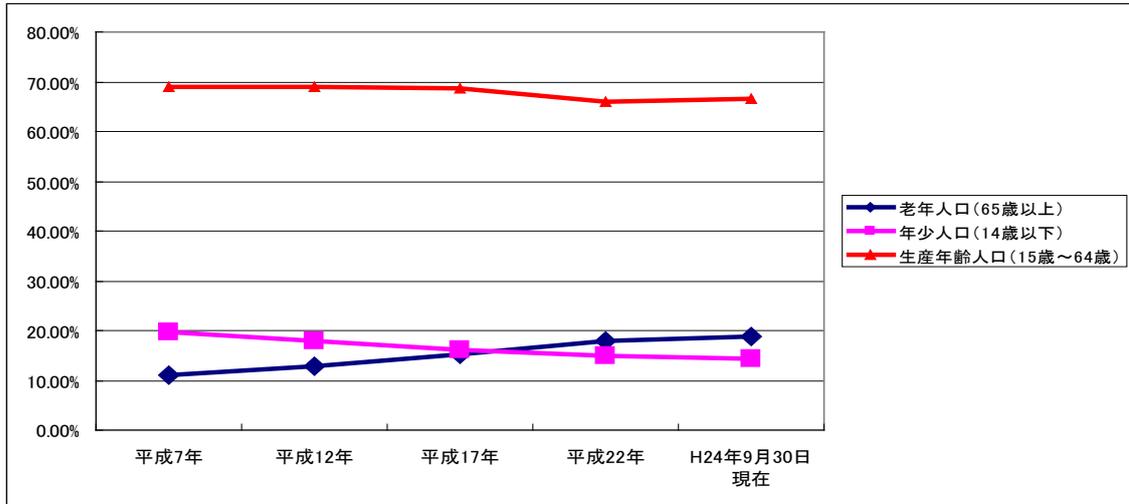
		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 24 年 (9/30 現在)
総人口		28,543 人	30,769 人	31,650 人	31,322 人	31,384 人
年少人口 (14 歳以下)	人口	5,654 人	5,531 人	5,144 人	4,640 人	4,510 人
	構成割合	19.8%	18.0%	16.2%	14.8%	14.4%
生産年齢人口 (15 歳～64 歳)	人口	19,710 人	21,274 人	21,741 人	20,658 人	20,948 人
	構成割合	69.0%	69.1%	68.7%	66.0%	66.7%
老年人口 (65 歳以上)	人口	3,175 人	3,959 人	4,765 人	5,638 人	5,926 人
	構成割合	11.1%	12.9%	15.1%	18.0%	18.9%

(資料：平成 7 年～平成 22 年国勢調査、平成 24 年住民基本台帳集計)

〔図 1〕 人口の推移と割合



〔図 2〕 年齢区分別の推移



(2) 中央市の国民健康保険被保険者の状況

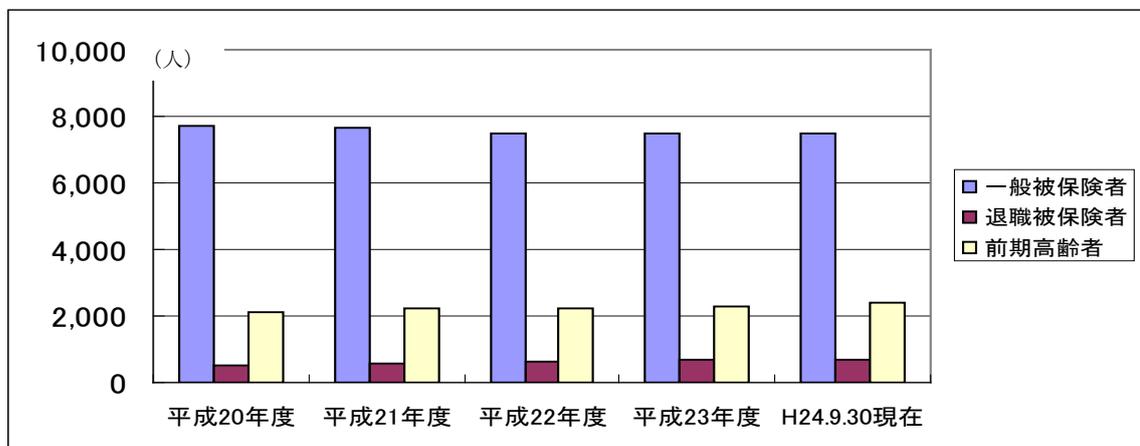
平成20年度から平成23年度の年度末の被保険者を比較してみると、全体の被保険者数は若干の減少状態になっている。退職被保険者数は団塊の世代の退職に伴い増加傾向にあるが、その分、一般被保険者数は減少傾向にある。前期高齢者数は若干の増加傾向にある。

〔表 2〕 被保険者の推移

	平成20年度 (H21.3.31 現在)	平成21年度 (H22.3.31 現在)	平成22年度 (H23.3.31 現在)	平成23年度 (H24.3.31 現在)	H24.9.30 現在
被保険者数	8,213 人	8,219 人	8,157 人	8,137 人	8,162 人
一般被保険者	7,699 人	7,652 人	7,503 人	7,462 人	7,471 人
退職被保険者	514 人	567 人	654 人	675 人	691 人
前期高齢者	2,139 人	2,251 人	2,230 人	2,291 人	2,383 人

(資料：事業年報、事業月報)

〔図 3〕 区分別被保険者数の推移



平成 24 年 9 月 30 日現在の中央市の国民健康保険年齢階層別被保険者数は、表 3 のとおりとなっている。被保険者数は 8,162 人となっており、市の人口全体に占める割合は 26.0%である。年齢が高くなるにつれ被保険者の加入割合が増えており、60～64 歳では 51.4%、65～69 歳では 77.1%、70～74 歳では 80.8%となっている。

〔表 3〕 国民健康保険年齢階層別被保険者数（平成 24 年 9 月 30 日現在）

	男			女			計		
	人口	国保加入者	加入割合	人口	国保加入者	加入割合	人口	国保加入者	加入割合
0～4 歳	737 人	115 人	15.6%	679 人	104 人	15.3%	1,416 人	219 人	15.5%
5～9 歳	738 人	121 人	16.4%	705 人	123 人	17.4%	1,443 人	244 人	16.9%
10～14 歳	867 人	137 人	15.8%	775 人	146 人	18.8%	1,651 人	283 人	17.1%
15～19 歳	847 人	169 人	20.0%	837 人	151 人	18.0%	1,689 人	320 人	18.9%
20～24 歳	936 人	169 人	18.1%	854 人	162 人	19.0%	1,798 人	331 人	18.4%
25～29 歳	969 人	159 人	16.4%	944 人	181 人	19.2%	1,912 人	340 人	17.8%
30～34 歳	1,079 人	220 人	20.4%	965 人	178 人	18.4%	2,047 人	398 人	19.4%
35～39 歳	1,186 人	220 人	18.5%	1,188 人	218 人	18.4%	2,375 人	438 人	18.4%
40～44 歳	1,215 人	273 人	22.5%	1,111 人	218 人	19.6%	2,326 人	491 人	21.1%
45～49 歳	1,189 人	243 人	20.4%	1,073 人	168 人	15.7%	2,262 人	411 人	18.2%
50～54 歳	979 人	199 人	20.3%	1,000 人	215 人	21.5%	1,979 人	414 人	20.9%
55～59 歳	1,062 人	293 人	27.6%	1,062 人	320 人	30.1%	2,124 人	613 人	28.9%
60～64 歳	1,253 人	586 人	46.8%	1,183 人	666 人	56.3%	2,436 人	1,252 人	51.4%
65～69 歳	844 人	651 人	77.1%	845 人	651 人	77.0%	1,689 人	1,302 人	77.1%
70～74 歳	646 人	537 人	83.1%	723 人	569 人	78.7%	1,369 人	1,106 人	80.8%
75～79 歳	479 人			624 人			1,103 人		
80～84 歳	360 人			457 人			817 人		
85～89 歳	186 人			378 人			564 人		
90 歳以上	85 人			299 人			384 人		
合計	15,657 人	4,092 人	26.1%	15,727 人	4,070 人	25.9%	31,384 人	8,162 人	26.0%

（資料：被保険者台帳集計）

国民健康保険被保険者の加入割合を見ると、人口及び国保被保険者とも横ばい状態で推移している。国保加入割合についても 25～26%となっている。

〔表 4〕 国民健康保険加入割合

	H21.3.31 現在	H22.3.31 現在	H23.3.31 現在	H24.3.31 現在	H25.3.31 現在
総人口	30,011 人	32,041 人	31,819 人	31,666 人	31,384 人
国保被保険者数	8,213 人	8,219 人	8,157 人	8,137 人	8,162 人
国保加入割合	27.4%	25.7%	25.6%	25.7%	26.0%

（資料：被保険者台帳集計等）

2. 医療費の現状

(1) 医療費の推移

中央市の医療費（保険給付費）は年々増加しており、平成23年度は約19億2,000万円となっている。平成20年度から平成21年度にかけては約1億9,500万円の増加があり、それ以降は医療費の抑制に努めるなかで、約1億2,000万円の増加、約5,000万円の増加と上昇が緩やかとなってきている。

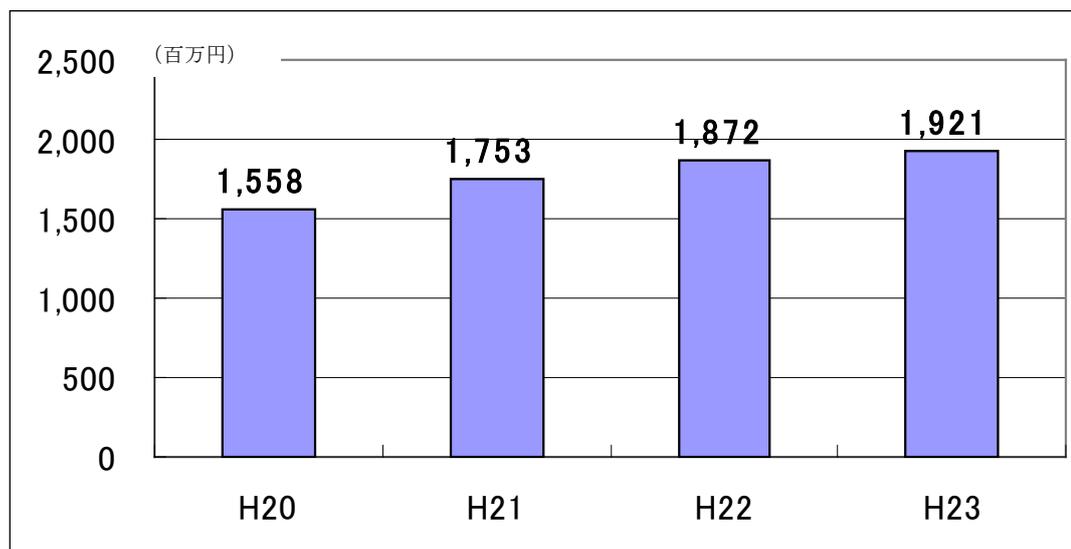
〔表5〕 医療費（保険給付費）の推移

（単位：百万円）

			H20	H21	H22	H23	
医療費	一般 被保険者	療養給付費	1,236	1,449	1,517	1,543	
		療養費	18	19	26	23	
		高額療養費	116	157	183	193	
	退職 被保険者	療養給付費	163	113	129	144	
		療養費	3	2	2	2	
		高額療養費	22	13	15	16	
	合計			1,558	1,753	1,872	1,921

（資料：決算書）

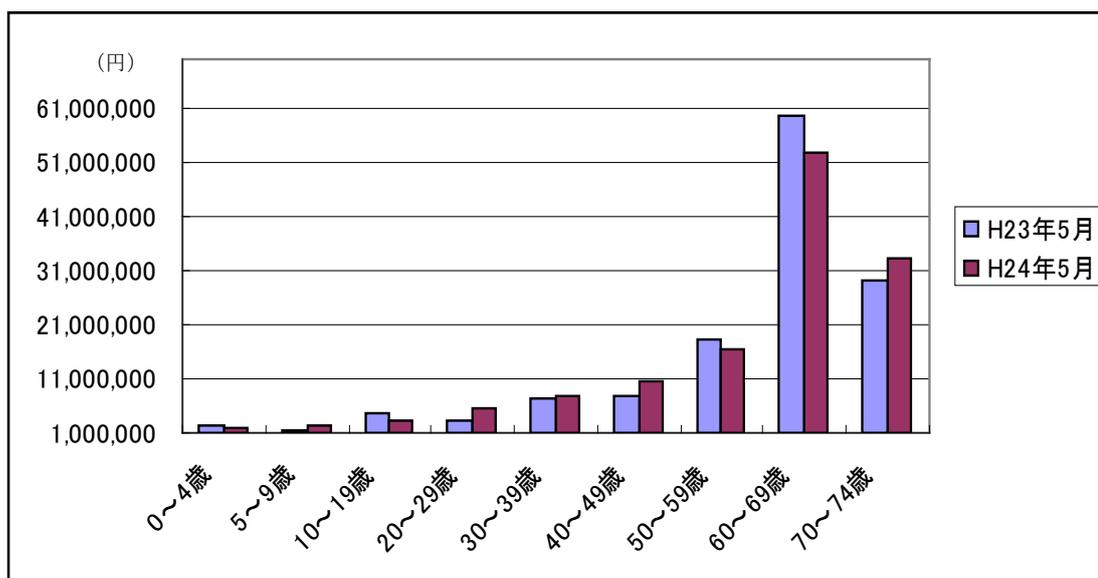
〔図4〕 医療費（保険給付費）の推移



(2) 年齢階層別の医療費

平成23年5月診療分と平成24年5月診療分のレセプトデータを年齢階層別に比較してみると、60～69歳の年代の医療費がかなり高くなっていることがわかる。50～59歳の年代で徐々に増加傾向となり、60～69歳の年代でピークに達し、70～74歳の年代で減少になっている。

〔図 5〕 年齢階層別の医療費



(3) 一人あたりの医療費

一人あたりの医療費（10 割分）の推移をみると、退職被保険者は減少傾向で推移してきたが、一般被保険者、前期高齢者（65～74 歳）、全体において増加傾向を示している。平成 23 年度を県平均と比較してみると、一般被保険者では 714 円、前期高齢者では 18,283 円高くなっているものの、退職被保険者では 93,065 円、全体でも 3,010 円低くなっている。

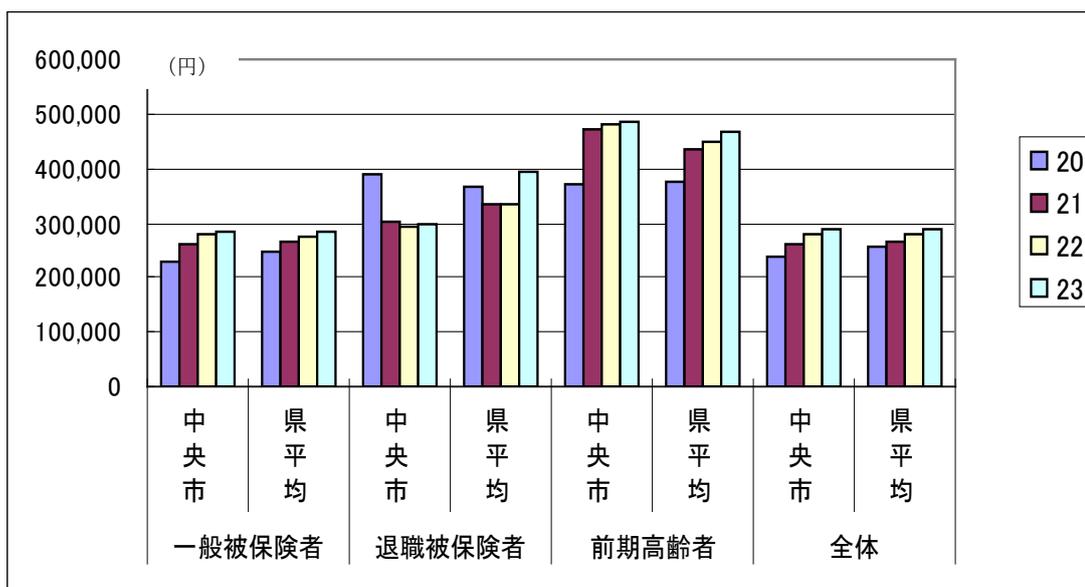
〔表 6〕 一人あたりの医療費（10 割分）の推移

（単位：円）

年度	一般被保険者		退職被保険者		前期高齢者 (65～74 歳)		全体	
	中央市	県平均	中央市	県平均	中央市	県平均	中央市	県平均
20	227,546	248,073	391,374	365,014	369,382	376,919	239,492	254,352
21	260,518	264,617	300,387	332,516	473,408	436,360	263,157	267,239
22	278,132	275,761	294,847	333,269	479,905	448,525	279,411	278,038
23	285,172	284,458	299,029	392,094	483,460	465,177	286,350	289,360

（資料：事業年報）

〔図 6〕 一人あたりの医療費（10 割分）の推移



(4) 疾病別医療費

国民健康保険の疾病統計データ（5月診療分）から平成23年度と平成24年度を比較してみると、どの年代にどんな病気が多いのか、どれだけの医療費が使われているのかを知ることができ、予防やその対策の指標となることができる。

乳幼児期から少年期にかけては、呼吸器系、感染症、消化器系（う歯）の疾患が多くなっている。青年期から中高年期にかけては、精神疾患が増加していて、心の健康への気づかいや配慮が必要なことがうかがえる。また、腎不全等の疾患も多くなり、生活習慣病への注意や対策が必要になってきている。高齢期では新生物や循環器系の疾患が上位を占め、これらの流れからすると中高年期以降に生活習慣病への予防や対策が必要なことがわかる。

〔表 7〕 世代別疾病状況比較（平成23年度・平成24年度）
ランキング

平成23年5月				平成24年5月			
乳幼児期				乳幼児期			
0～4歳（被保険者数 221人）				0～4歳（被保険者数 211人）			
医療費総額 2,412,360円／221件				医療費総額 1,951,280円／218件			
一人あたり 10,916円				一人あたり 9,248円			
順位	疾患名	件数	金額	順位	疾患名	件数	金額
1	呼吸器疾患	112	1,218,090円	1	呼吸器疾患	111	779,680円
2	周産期疾患	8	364,820円	2	感染症	15	430,490円
3	眼疾患	12	160,090円	3	皮膚等疾患	32	205,070円
4	感染症	17	154,090円	4	分類不能	8	143,430円

平成 23 年 5 月

少年期①			
5～9 歳（被保険者数 263 人） 医療費総額 1,594,070 円／249 件 一人あたり 6,061 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	呼吸器疾患	110	487,070 円
2	消化器系疾患	57	481,530 円
3	眼疾患	30	162,270 円
4	糖尿病	2	89,300 円
少年期②			
10～19 歳（被保険者数 628 人） 医療費総額 4,440,220 円／323 件 一人あたり 7,070 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	耳疾患	8	917,550 円
2	神経疾患	5	638,580 円
3	消化器系疾患	68	634,580 円
4	新生物	1	476,520 円
青年期①			
20～29 歳（被保険者数 704 人） 医療費総額 3,119,420 円／233 件 一人あたり 4,431 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	精神疾患	24	928,360 円
2	消化器系疾患	52	728,670 円
3	感染症	14	495,740 円
4	呼吸器疾患	33	165,120 円
青年期②			
30～39 歳（被保険者数 890 人） 医療費総額 7,460,790 円／406 件 一人あたり 8,383 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	消化器系疾患	91	1,448,680 円
2	精神疾患	53	1,422,140 円
3	神経疾患	18	1,286,450 円
4	腎不全等疾患	27	1,006,980 円

平成 24 年 5 月

少年期①			
5～9 歳（被保険者数 250 人） 医療費総額 2,248,240 円／305 件 一人あたり 8,993 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	呼吸器疾患	131	700,380 円
2	消化器系疾患	68	549,740 円
3	感染症	18	291,810 円
4	眼疾患	31	181,340 円
少年期②			
10～19 歳（被保険者数 613 人） 医療費総額 3,362,320 円／349 件 一人あたり 5,485 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	内分泌疾患	5	934,820 円
2	消化器系疾患	64	666,360 円
3	呼吸器疾患	118	606,160 円
4	損傷、中毒	26	278,710 円
青年期①			
20～29 歳（被保険者数 706 人） 医療費総額 5,364,210 円／254 件 一人あたり 7,598 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	呼吸器疾患	45	1,326,440 円
2	血液免疫疾患	4	800,790 円
3	精神疾患	26	790,860 円
4	消化器系疾患	63	760,060 円
青年期②			
30～39 歳（被保険者数 838 人） 医療費総額 8,010,420 円／399 件 一人あたり 9,559 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	消化器系疾患	104	1,773,130 円
2	感染症	15	1,478,540 円
3	精神疾患	44	1,474,070 円
4	新生物	18	850,200 円

平成 23 年 5 月

中高年期①			
40～49 歳（被保険者数 857 人）			
医療費総額 7,630,470 円／402 件			
一人あたり 8,904 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	消化器系疾患	91	1,448,680 円
2	精神疾患	53	1,422,140 円
3	神経疾患	18	1,286,450 円
4	腎不全等疾患	27	1,006,980 円
中高年期②			
50～59 歳（被保険者数 1,114 人）			
医療費総額 18,120,300 円／743 件			
一人あたり 16,266 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	脊椎関節疾患	70	3,632,550 円
2	消化器系疾患	199	2,675,890 円
3	新生物	32	2,388,270 円
4	腎不全等疾患	22	2,216,000 円
高齢期①			
60～69 歳（被保険者数 2,537 人）			
医療費総額 59,521,060 円／2,463 件			
一人あたり 23,461 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	高血圧性疾患	575	15,388,890 円
2	消化器系疾患	518	8,990,130 円
3	新生物	114	6,759,150 円
4	糖尿病	282	5,088,660 円
高齢期②			
70～74 歳（被保険者数 1,014 人）			
医療費総額 29,132,600 円／1,264 件			
一人あたり 28,730 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	新生物	79	5,626,400 円
2	高血圧疾患	328	5,137,200 円
3	消化器系疾患	248	4,437,840 円
4	脊椎関節疾患	152	3,377,290 円

平成 24 年 5 月

中高年期①			
40～49 歳（被保険者数 918 人）			
医療費総額 10,711,610 円／461 件			
一人あたり 11,668 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	神経疾患	19	4,113,310 円
2	精神疾患	47	1,778,700 円
3	消化器系疾患	127	1,591,240 円
4	腎不全等疾患	13	947,770 円
中高年期②			
50～59 歳（被保険者数 1,064 人）			
医療費総額 16,300,670 円／727 件			
一人あたり 15,320 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	腎不全等疾患	17	2,566,950 円
2	消化器系疾患	184	2,465,090 円
3	新生物	40	2,363,790 円
4	精神疾患	49	2,204,610 円
高齢期①			
60～69 歳（被保険者数 2,566 人）			
医療費総額 52,664,990 円／2,623 件			
一人あたり 20,524 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	新生物	182	12,756,220 円
2	消化器系疾患	570	8,381,300 円
3	循環器系疾患	530	6,673,000 円
4	腎不全等疾患	50	6,233,260 円
高齢期②			
70～74 歳（被保険者数 1,081 人）			
医療費総額 33,250,820 円／1,446 件			
一人あたり 30,759 円			
順位	疾患名	件数	金額
1	循環器系疾患	299	7,570,620 円
2	新生物	113	5,420,260 円
3	消化器系疾患	298	4,170,500 円
4	腎不全等疾患	33	3,101,770 円

(資料：疾病統計データ)

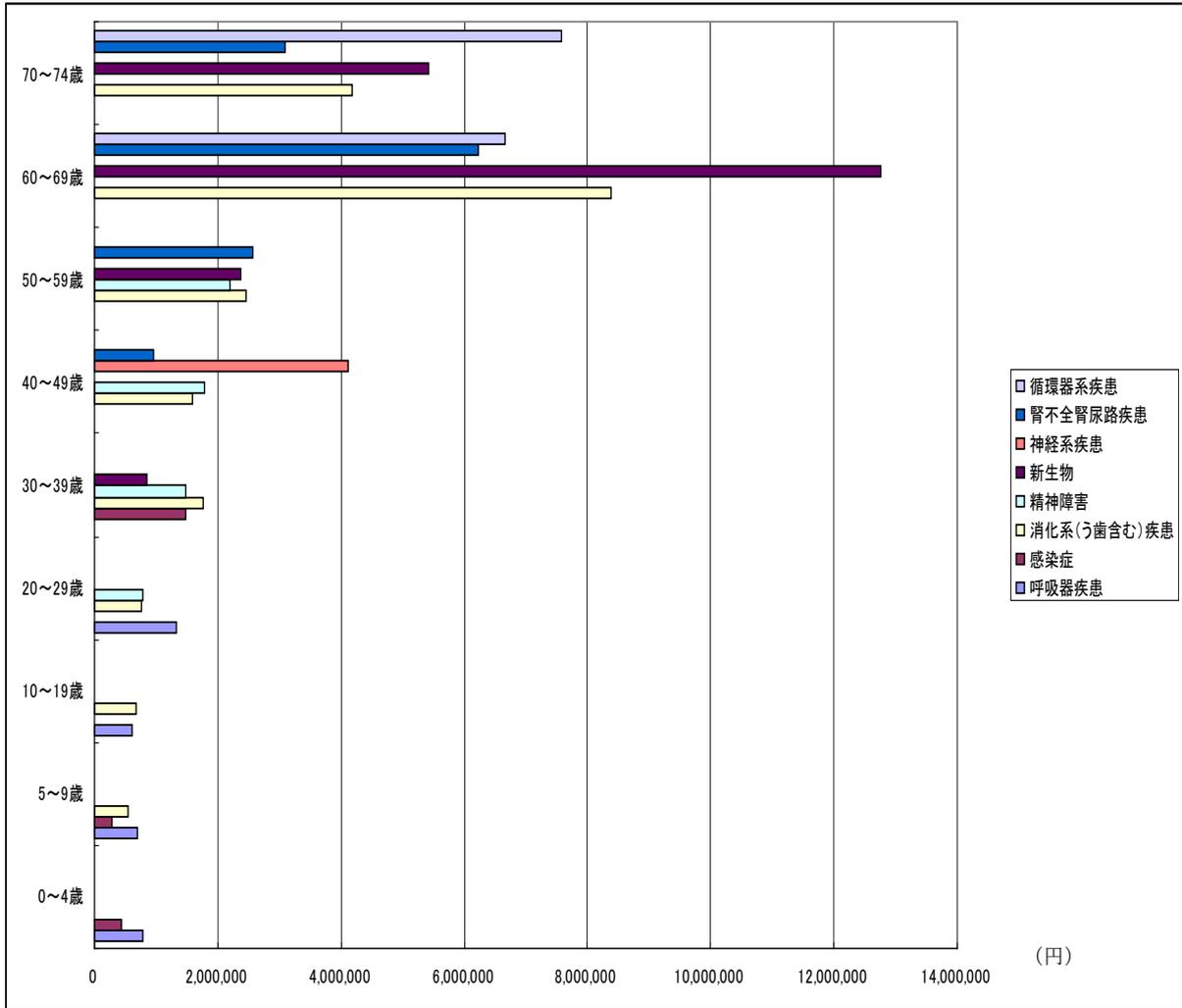
〔表 8〕 年度別疾病別医療状況（毎年 5 月診療分の疾病統計データ）

（単位：件、円）

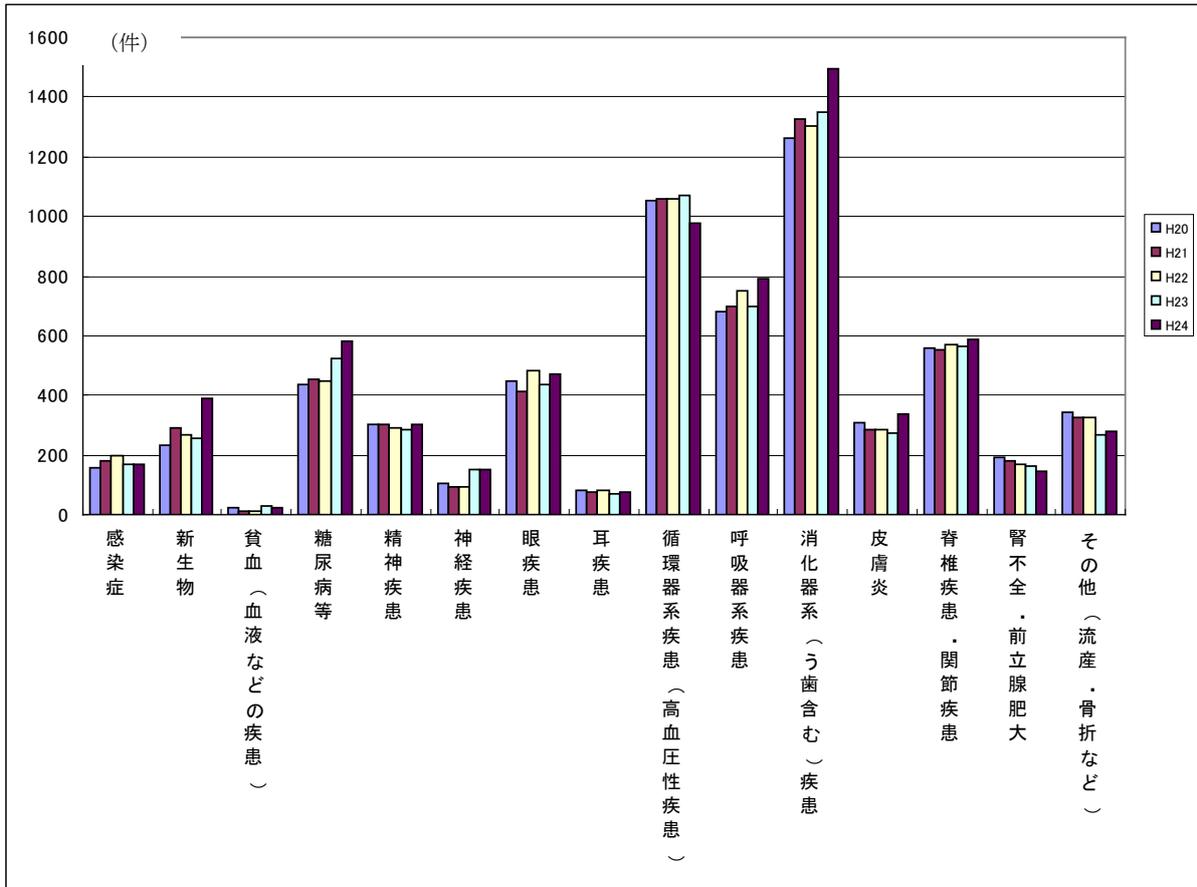
		H20	H21	H22	H23	H24
感染症（感染症及び寄生虫症）	件数	160	178	198	171	171
	金額	4,315,300	2,594,490	2,929,870	3,780,930	3,435,430
新生物	件数	232	293	269	255	389
	金額	14,499,660	22,015,270	29,163,210	16,180,710	21,929,460
貧血（血液及び造血器の疾患、免疫機能障害）	件数	22	14	11	28	23
	金額	291,450	576,760	127,540	658,970	1,952,940
糖尿病等（内分泌、栄養及び代謝疾患）	件数	439	452	446	523	579
	金額	6,549,450	7,325,480	6,937,670	8,772,810	7,398,360
精神疾患（精神及び行動の障害）	件数	300	300	289	287	301
	金額	11,248,190	12,390,180	15,808,970	12,050,290	12,199,900
神経疾患（神経系の疾患）	件数	102	92	95	149	153
	金額	3,675,720	6,306,580	8,595,490	4,748,940	6,926,870
眼疾患（眼及び付属器の疾患）	件数	447	415	481	434	471
	金額	3,422,100	4,138,600	3,971,510	3,341,900	4,681,160
耳疾患（耳及び乳様突起の疾患）	件数	79	75	79	71	75
	金額	501,460	984,890	506,430	1,570,510	415,510
循環器系の疾患（高血圧性疾患等）	件数	1,053	1,057	1,058	1,067	978
	金額	17,064,900	22,542,320	30,076,770	22,510,150	16,840,260
呼吸器系の疾患	件数	683	699	751	701	789
	金額	6,134,890	5,841,790	6,701,740	7,596,000	6,497,400
消化器系（う歯含む）の疾患	件数	1,262	1,325	1,302	1,348	1,496
	金額	19,967,370	20,502,150	19,800,850	20,561,870	20,479,580
皮膚炎（皮膚及び皮下組織の疾患）	件数	306	288	286	272	337
	金額	1,569,910	1,906,930	2,218,620	1,468,580	2,223,520
脊椎疾患・関節疾患（筋骨格系結合組織の疾患）	件数	558	550	570	562	590
	金額	9,765,380	10,698,000	6,606,710	12,698,160	7,895,860
腎不全・前立腺肥大（腎尿路生殖器系疾患）	件数	191	178	169	163	148
	金額	12,436,550	13,169,710	14,463,070	11,904,960	13,617,440
その他（流産・骨折など）	件数	343	326	326	273	282
	金額	5,595,810	7,652,650	5,174,070	5,586,510	7,370,870
計	件数	6,177	6,242	6,330	6,304	6,782
	金額	117,138,140	138,645,800	153,082,520	133,431,290	133,864,560

（資料：疾病統計データ等）

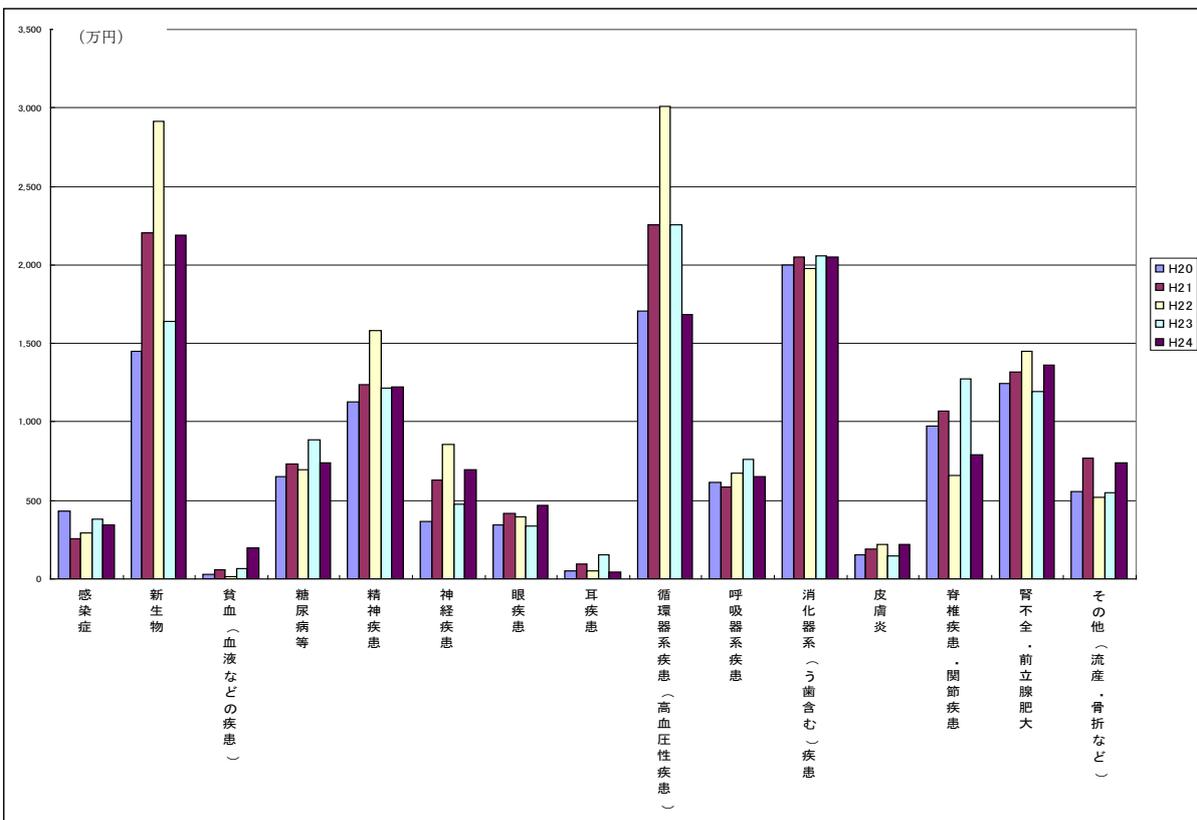
〔図 7〕 世代別主な疾病別医療費の状況（H24年5月診療分）



〔図 8〕 年度別疾病別医療状況（毎年 5 月診療分の疾病統計データ）件数



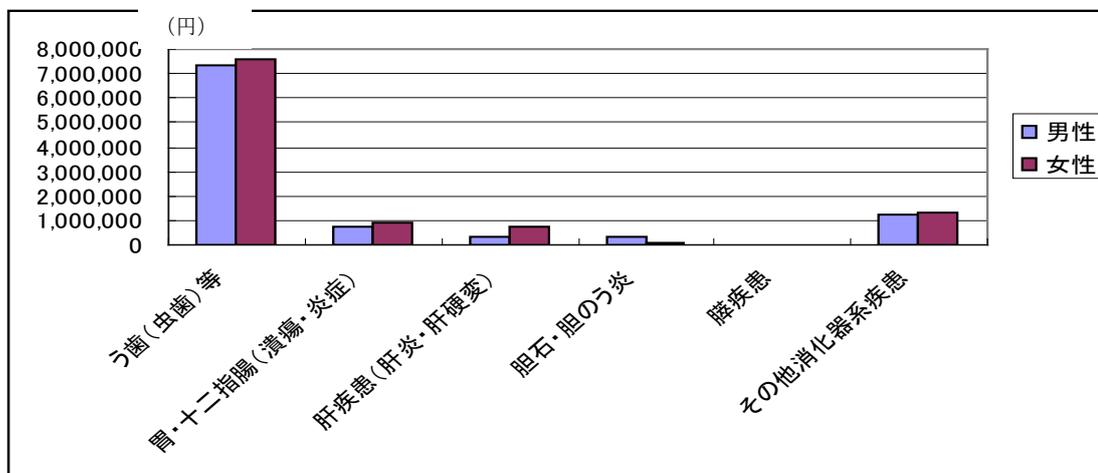
〔図 9〕 年度別疾病別医療状況（毎年 5 月診療分の疾病統計データ）金額



(5) 消化器系疾患

消化器系疾患は、医療費に占める割合が第2位と高いが、主なものはう歯（虫歯）等である。

〔図 10〕 消化器系疾患の詳細（平成 24 年 5 月診療分の疾病統計データ）



〔表 9〕 消化器系疾患の詳細（平成 24 年 5 月診療分の疾病統計データ）

	疾病名	件数	金額	割合
男 性	う歯（虫歯）等	538	7,366,910 円	74.2%
	胃・十二指腸（潰瘍・胃炎）	67	721,120 円	7.3%
	肝疾患（肝炎・肝硬変）	21	304,570 円	3.1%
	胆石・胆のう炎	3	314,500 円	3.2%
	膵疾患	4	14,150 円	0.1%
	その他消化器系疾患	56	1,205,300 円	12.1%
	計	689	9,926,550 円	100.0%
女 性	う歯（虫歯）等	619	7,547,410 円	71.5%
	胃・十二指腸（潰瘍・胃炎）	92	871,340 円	8.3%
	肝疾患（肝炎・肝硬変）	24	752,180 円	7.1%
	胆石・胆のう炎	4	72,920 円	0.7%
	膵疾患	0	0 円	0.0%
	その他消化器系疾患	68	1,309,180 円	12.4%
	計	807	10,553,030 円	100.0%
計	う歯（虫歯）等	1,157	14,914,320 円	72.8%
	胃・十二指腸（潰瘍・胃炎）	159	1,592,460 円	7.8%
	肝疾患（肝炎・肝硬変）	45	1,056,750 円	5.2%
	胆石・胆のう炎	7	387,420 円	1.9%
	膵疾患	4	14,150 円	0.1%
	その他消化器系疾患	124	2,514,480 円	12.3%
	計	1,496	20,479,580 円	100.0%

（資料：疾病統計データ）

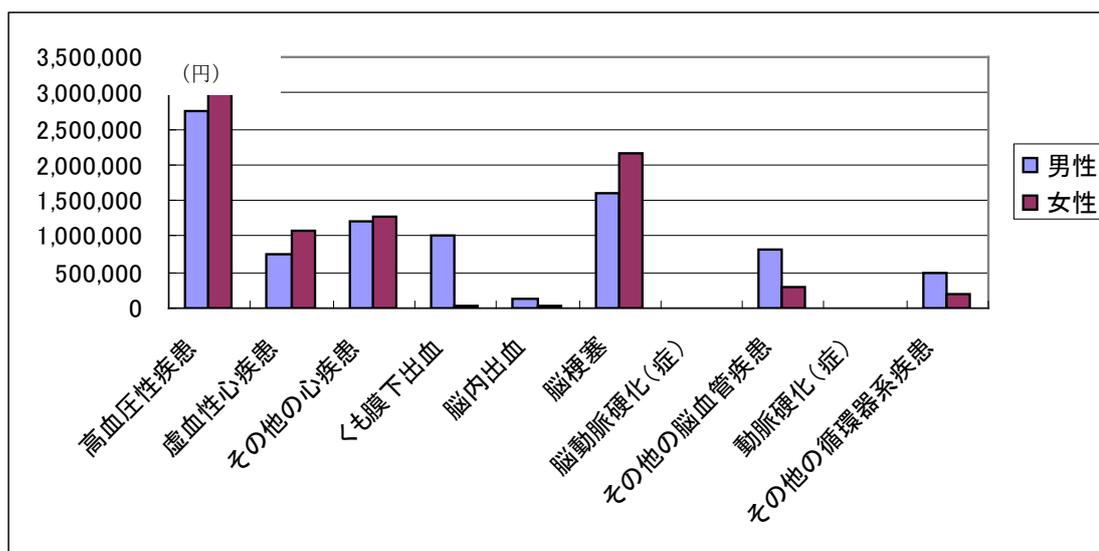
(6) 循環器系疾患

〔表 10〕 循環器系疾患の詳細（平成 24 年 5 月診療分の疾病統計データ）

	疾病名	件数	金額	割合
男 性	高血圧性疾患	346	2,734,300 円	31.4%
	虚血性心疾患	43	743,780 円	8.5%
	その他の心疾患	43	1,220,890 円	14.0%
	くも膜下出血	2	1,005,940 円	11.5%
	脳内出血	10	127,910 円	1.5%
	脳梗塞	30	1,596,940 円	18.3%
	脳動脈硬化（症）	0	0 円	0.0%
	その他の脳血管疾患	10	805,530 円	9.2%
	動脈硬化（症）	2	6,690 円	0.1%
	その他の循環器系疾患	11	477,250 円	5.5%
	計	497	8,719,230	100.0%
女 性	高血圧性疾患	389	3,017,310 円	37.2%
	虚血性心疾患	21	1,077,300 円	13.3%
	その他の心疾患	19	1,286,300 円	15.9%
	くも膜下出血	2	23,300 円	0.3%
	脳内出血	2	38,480 円	0.5%
	脳梗塞	21	2,166,850 円	26.7%
	脳動脈硬化（症）	0	0 円	0.0%
	その他の脳血管疾患	7	292,430 円	3.6%
	動脈硬化（症）	1	1,380 円	0.0%
	その他の循環器系疾患	19	212,100 円	2.6%
	計	481	8,121,030 円	100.0%
計	高血圧性疾患	735	5,757,190 円	34.2%
	虚血性心疾患	64	1,821,080 円	10.8%
	その他の心疾患	62	2,507,190 円	14.9%
	くも膜下出血	4	1,029,240 円	6.1%
	脳内出血	12	166,390 円	1.0%
	脳梗塞	51	3,763,790 円	22.4%
	脳動脈硬化（症）	0	0 円	0.0%
	その他の脳血管疾患	17	1,097,960 円	6.5%
	動脈硬化（症）	3	8,070 円	0.0%
	その他の循環器系疾患	30	689,350 円	4.1%
	計	978	16,840,260 円	100.0%

（資料：疾病統計データ）

〔図 11〕 循環器系疾患の詳細（平成 24 年 5 月診療分の疾病統計データ）

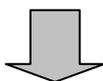


循環器系疾患は、医療費に占める割合が第 3 位である。内訳を見ると高血圧性疾患が全体の 34.2%を占め、続いて脳梗塞が 22.4%、その他の心疾患 14.9%、虚血性心疾患 10.8%となっている。男性と女性を比較した場合、それぞれにおいて女性の占める割合が高くなっている。

(7) 医療費の現状のまとめ

医療費の現状を見ることで以下のことが確認できた。

- ・ 医療費は年々増加しているが、上昇が緩やかになってきている。
- ・ 年齢階層別の医療費では、60 歳から 69 歳の年代が全体の約 40%を占め、非常に高い。
- ・ 一人あたりの医療費をみると、前期高齢者（65～74 歳）の一人あたりの医療費が県平均を大きく上回っている。
- ・ 平成 24 年度の疾病別医療費をみると、第 1 位が「新生物」、第 2 位が「消化器系（う歯含む）疾患」、第 3 位が「循環器系疾患」、第 4 位が「腎不全・前立腺肥大」、第 5 位が「精神疾患」となっている。
- ・ 疾病別医療費の第 2 位の「消化器系（う歯含む）疾患」を内訳で見ると、約 73%が「う歯（虫歯）等」である。
- ・ 疾病別医療費の第 3 位の「循環器系疾患」を内訳で見ると、約 34%が「高血圧性疾患」であり、続いて「脳梗塞」、「その他の心疾患」、「虚血性心疾患」の順となっている。また、男性より女性が高くなっている。



1. 生涯を通じてのう歯（虫歯）予防対策
2. がん検診受診勧奨
3. 生活習慣病対策

3. 死因の現状

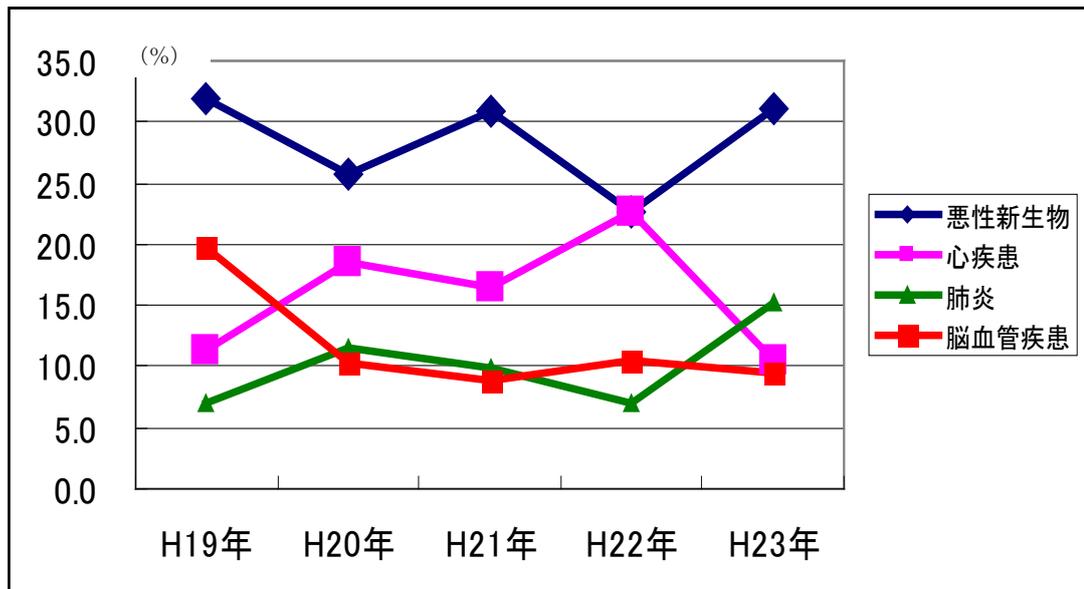
平成 23 年における中央市の死因の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は肺炎、第 3 位は心疾患である。第 5 位となっている脳血管疾患と第 3 位の心疾患は生活習慣病であり、死因の約 20～30%にあたる。医療費だけでなく死因の観点からも生活習慣病が大きな課題となってきたことが確認できる。

〔表 11〕 主要死因分類別状況

年		H19 年 (203 人)	H20 年 (226 人)	H21 年 (224 人)	H22 年 (216 人)	H23 年 (264 人)
悪性新生物	人数	65 人	58 人	69 人	49 人	82 人
	割合	32.0%	25.7%	30.8%	22.7%	31.1%
心疾患	人数	23 人	42 人	37 人	49 人	28 人
	割合	11.3%	18.6%	16.5%	22.7%	10.6%
肺炎	人数	14 人	26 人	22 人	15 人	40 人
	割合	6.9%	11.5%	9.8%	6.9%	15.2%
脳血管疾患	人数	40 人	23 人	20 人	23 人	25 人
	割合	19.7%	10.2%	8.9%	10.6%	9.5%
その他	人数	61 人	77 人	76 人	80 人	89 人
	割合	30.1%	34.0%	34.0%	37.1%	33.6%

(資料：平成 19～22 年は県人口動態統計より、平成 23 年は市に届けた者)

〔図 12〕 主要死因分類別の推移



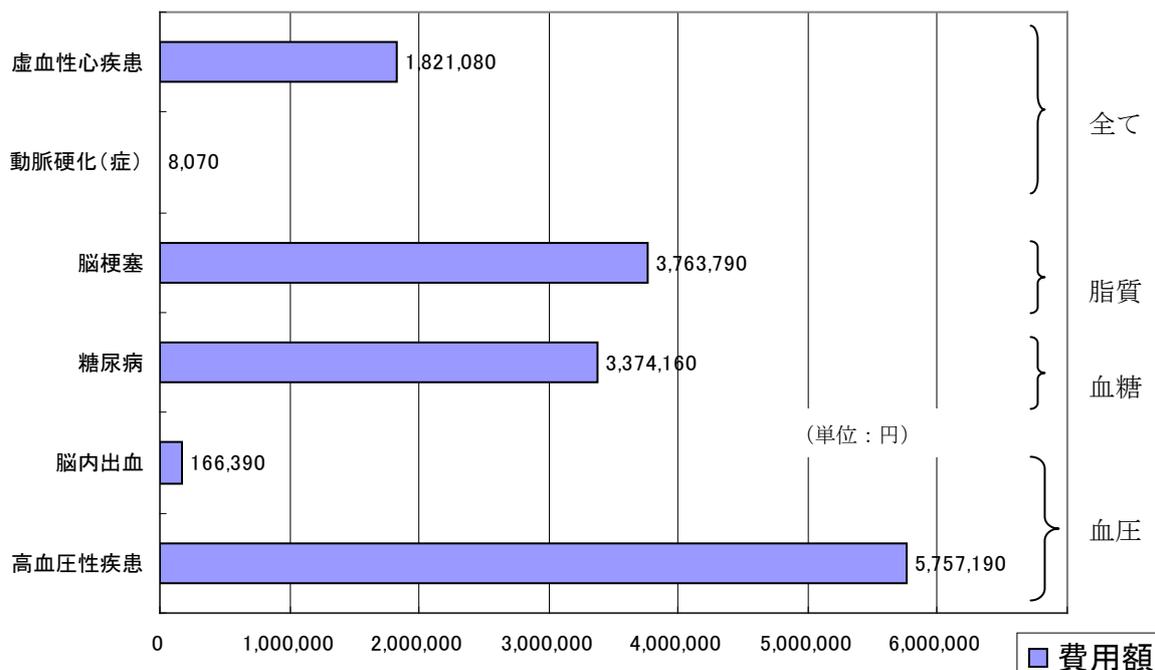
4. 生活習慣病の現状

(1) 生活習慣病医療費の詳細

主な生活習慣病の平成24年5月診療分の医療費を合計すると、約1,500万円となる。背景にあるものをリスク別に見ると、脂質、血糖、血圧とさまざまになっている。

特に多くの医療費がかかっている疾病は、高血圧性疾患と脳梗塞、糖尿病である。

〔図13〕 主要な生活習慣病医療費の詳細 (平成24年5月診療分)



〔表12〕 主要な生活習慣病医療費の詳細 (平成24年5月診療分)

虚血性心疾患	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0
40～49歳	1	4,010	0	0	1	4,010
50～59歳	2	299,700	1	4,800	3	304,500
60～69歳	22	317,050	11	109,830	33	426,880
70～74歳	14	123,020	9	862,670	23	1,085,690
計	39	743,780	21	1,077,300	60	1,821,080

動脈硬化 (症)	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1	4,800	1	1,380	2	6,180
70～74歳	1	1,890	0	0	1	1,890
計	2	6,690	1	1,380	3	8,070
脳梗塞	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	4,010	1	6,280	2	10,290
60～69歳	15	473,800	10	129,110	25	602,910
70～74歳	13	1,119,130	10	2,031,460	23	3,150,590
計	29	1,596,940	21	2,166,850	50	3,763,790
糖尿病	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳						
10～19歳						
20～29歳	1	41,440	0	0	1	41,440
30～39歳	5	121,950	3	55,830	8	177,780
40～49歳	9	124,680	1	8,710	10	133,390
50～59歳	17	389,680	13	172,300	30	561,980
60～69歳	75	920,200	52	629,890	127	1,550,090
70～74歳	39	643,300	24	266,180	63	909,480
計	146	2,241,250	93	1,132,910	239	3,374,160

脳内出血	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0
50～59歳	3	28,040	0	0	3	28,040
60～69歳	5	74,780	1	1,890	6	76,670
70～74歳	2	25,090	1	36,590	3	61,680
計	10	127,910	2	38,480	12	166,390
高血圧性疾患	男性		女性		計	
	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)	人数 (人)	診療費 (円)
0～9歳	0	0	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	1	7,170	0	0	1	7,170
30～39歳	6	53,540	2	8,430	8	61,970
40～49歳	14	101,660	4	35,240	18	136,900
50～59歳	39	305,760	45	288,820	84	594,580
60～69歳	186	1,432,580	217	1,787,070	403	3,219,650
70～74歳	99	833,590	119	903,330	218	1,736,920
計	345	2,734,300	387	3,022,890	732	5,757,190

(資料：疾病統計データ)

(2) 特定健診受診者の生活習慣病服薬率

平成20年5月診療分から平成23年5月診療分の生活習慣病の治療に係る薬剤を服用している者の数(服用率)は、年々上昇傾向にある。服用率の高いものは、高血圧治療に係る服用率(平成24年5月：27.7%)で、次いで脂質異常症に係る服用率(平成24年5月：16.0%)、糖尿病に係る服用率(平成24年5月：5.8%)の順である。全体の服用率は、平成24年5月で49.5%と特定健診受診者の約半数が生活習慣病に係る治療薬を服用している。

〔表13〕 主要な生活習慣病服薬率の推移

	H20	H21	H22	H23
高血圧治療薬の服用率	25.3%	27.1%	25.8%	27.7%
脂質異常症薬の服用率	12.3%	13.9%	14.8%	16.0%
糖尿病治療薬の服用率	4.6%	5.5%	5.1%	5.8%
計	42.1%	46.5%	45.7%	49.5%

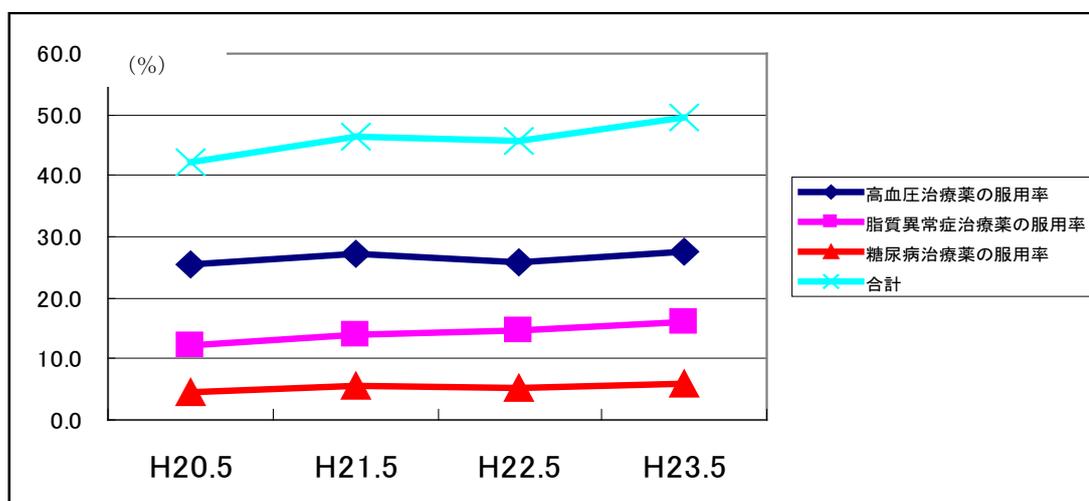
(資料：疾病統計データ)

〔表 14〕 主要な生活習慣病の服用者数及び服薬率の推移

		H20	H21	H22	H23
特定健診受診者数	男	840 人	907 人	939 人	1,008 人
	女	1,041 人	1,092 人	1,124 人	1,198 人
	計	1,881 人	1,999 人	2,063 人	2,206 人
高血圧治療薬の服用者数	男	231 人	269 人	267 人	309 人
	女	244 人	273 人	265 人	301 人
	計	475 人	542 人	532 人	610 人
脂質異常症治療薬の服用者数	男	61 人	81 人	93 人	124 人
	女	170 人	197 人	213 人	230 人
	計	231 人	278 人	306 人	354 人
糖尿病治療薬の服用者数	男	49 人	68 人	64 人	83 人
	女	37 人	41 人	41 人	44 人
	計	86 人	109 人	105 人	127 人
高血圧治療薬の服用率	男	27.5%	29.7%	28.4%	30.7%
	女	23.4%	25.0%	23.6%	25.1%
	計	25.3%	27.1%	25.8%	27.7%
脂質異常症薬の服用率	男	7.3%	8.9%	9.9%	12.3%
	女	8.3%	10.0%	9.3%	10.6%
	計	12.3%	13.9%	14.8%	16.0%
糖尿病治療薬の服用率	男	5.8%	7.5%	6.8%	8.2%
	女	3.6%	3.8%	3.6%	3.7%
	計	4.6%	5.5%	5.1%	5.8%
3つの合計の服用率		42.1%	46.5%	45.7%	49.5%

(資料：疾病統計データ)

〔図 14〕 主要な生活習慣病服薬率の推移



(3) 運動・喫煙・飲酒・食事などの生活習慣（総合健診での受診者のようす）

〔表 15〕生活習慣の変化（平成 18 年度→平成 24 年度）

○運動

運動習慣のある者	H18		H24	
	男性	女性	男性	女性
30 歳代	27.8%	15.4%	36.7%	20.8%
40 歳代	28.6%	12.0%	31.0%	20.6%
50 歳代	12.5%	26.3%	34.0%	28.9%
60 歳代	27.3%	48.2%	48.7%	47.5%
70 歳代	—	—	40.7%	36.2%

- ・ 60 歳代の女性以外の年代の者は、運動習慣の割合が増えている。
- ・ 平成 24 年度の総合健診受診者のなかで運動をしていると答えた者の割合は、中央市 36.5%、山梨県域 35.7%（平成 23 年度の厚生連データ）であった。

○喫煙

現在タバコを吸っている者	H18		H24	
	男性	女性	男性	女性
30 歳代	55.6%	20.0%	42.2%	10.3%
40 歳代	42.9%	16.0%	41.1%	14.1%
50 歳代	43.8%	7.0%	30.4%	10.8%
60 歳代	27.3%	3.6%	25.6%	5.6%
70 歳代	—	—	14.9%	2.2%

- ・ 50 歳代、60 歳代の女性以外の年代の者は、タバコを吸っている割合が減っている。
- ・ 平成 24 年度の総合健診受診者のなかで喫煙者の割合は、中央市 13.3%、山梨県域 13.4%（平成 23 年度の厚生連データ）であった。

○飲酒

お酒を週 5 日以上で 3 合以上飲む習慣のある者	H18		H24	
	男性	女性	男性	女性
30 歳代	8.5%	1.2%	3.4%	0.4%
40 歳代	12.4%	0.0%	4.7%	0.2%
50 歳代	7.9%	0.9%	4.0%	0.0%
60 歳代	6.0%	0.0%	3.1%	0.0%
70 歳代	—	—	0.9%	0.0%

- ・ 平成 24 年度の総合健診受診者のなかで週 4～5 日以上飲酒の習慣のある者の割合は、中央市 13.3%、山梨県域 13.4%であった。（平成 23 年度の厚生連データ）

○食事

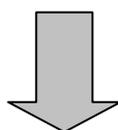
	中央市	山梨県域
満腹まで食べる	26.4%	24.5%
甘い物を食べる	31.5%	31.2%
味付けが濃い	21.5%	21.2%
夕食後に何か食べることが週3回以上	11.8%	11.3%
朝食を抜くことが週3回以上	8.4%	6.6%
就寝前2時間以内に夕食をとることが週3回以上	8.0%	7.6%
外食をすることが週3回以上	4.7%	3.8%
食べる速度が速い	27.2%	27.2%
食べる速度は普通	61.0%	61.4%
食べる速度は遅い	11.8%	11.4%

- ・味付けは、濃いほうだと感じている人は2割いた。
- ・山梨県は、塩分摂取が全国第1位である。薄味・減塩に向けた取り組みが必要である。
- ・食べる速度が、他人と比較して速かったり、満腹まで食べる人が約3割いた。早食いや過食は、肥満のもとであることを啓蒙していく必要がある。

(4) 生活習慣病の現状のまとめ

生活習慣病の現状を医療費と特定健診の結果の観点で見ることで以下のことが確認できた。

- ・生活習慣病医療費が、平成24年5月診療分の医療費で約11%（5月分の医療費 約1億3,300万円のうち、主要な生活習慣病の各疾病別医療費の合計 約1,500万円）を占めている。
- ・特定健診受診者の49.5%が、血圧・脂質・血糖の生活習慣病の治療に係る薬剤を服用している。
- ・生活習慣病の状況からも高血圧性疾患に係る医療費、服薬率が高くなっている。
- ・運動・喫煙・飲酒・食事などの生活習慣をみると、食事以外は県域より優っている。食生活の改善を中心に生活習慣病対策をとる必要がある。



若い世代からの生活習慣病対策

5. 特定健診の現状

(1) 受診者数及び受診率の推移

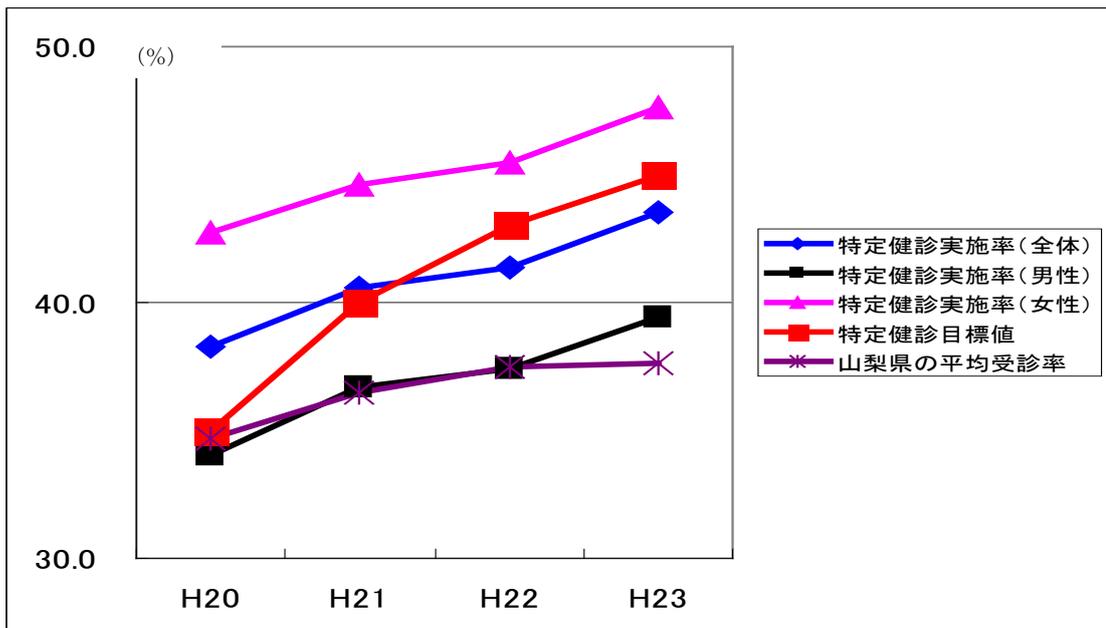
特定健診の全体の受診率は、年々上昇していて目標値を上回った年もあるが、参酌目標値の65%達成は厳しい状況にある。男性は、毎年受診率の上昇はあるものの目標値を下回っており、目標値との差は大きい。一方、女性は、毎年受診率の上昇とともに目標値を上回っている状況にある。

〔表 16〕 年度別受診等の状況

			H20	H21	H22	H23	参酌標準	
特 定 健 診	対象者	全体	4,909 人	4,922 人	4,981 人	5,076 人		
		男性	2,469 人	2,473 人	2,509 人	2,557 人		
		女性	2,440 人	2,449 人	2,472 人	2,519 人		
	受診者	全体	1,881 人	1,999 人	2,063 人	2,206 人		
		男性	840 人	907 人	939 人	1,008 人		
		女性	1,041 人	1,092 人	1,124 人	1,198 人		
	実施率	全体	38.3%	40.6%	41.4%	43.5%	65%	
		男性	34.0%	36.7%	37.4%	39.4%		
		女性	42.7%	44.6%	45.5%	47.6%		
	目標値	35%	40%	43%	45%			
	山梨県の受診率			34.7%	36.5%	37.5%	37.6%	

(資料：法定報告データ)

〔図 15〕 年度別受診率と目標値の状況

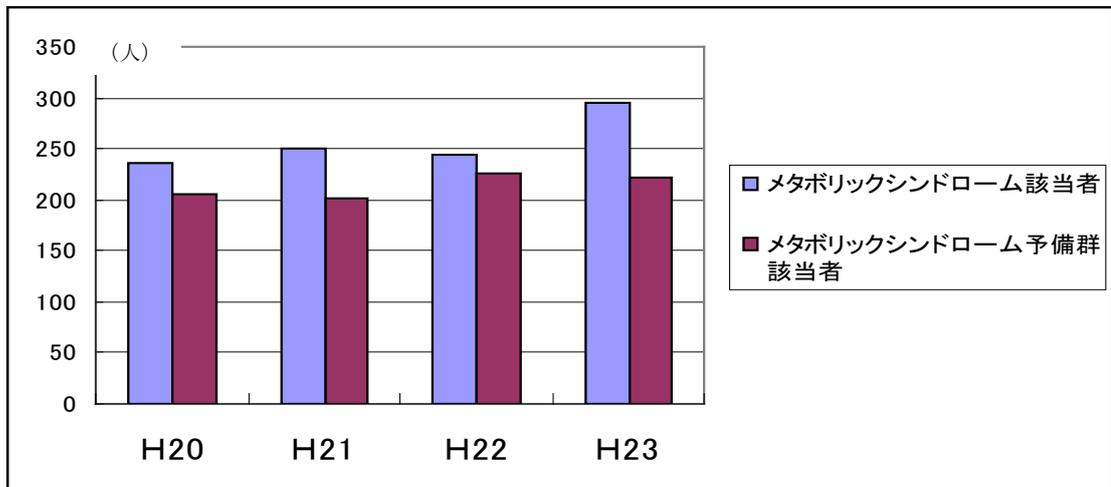


〔表 17〕 メタボリックシンドローム該当者等の状況

		H20	H21	H22	H23
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者	人数	237人	251人	245人	295人
	割合	12.6%	12.6%	11.9%	13.4%
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の該当者	人数	205人	202人	226人	222人
	割合	10.9%	10.1%	11.0%	10.1%

(資料：健診データ)

〔図 16〕 メタボリックシンドローム該当者等の推移



(2) 腹囲測定状況

内臓脂肪型肥満の要因のひとつとなっている男性の腹囲が 85cm 以上、女性の腹囲が 90cm 以上の者は、平成 23 年度に実施した特定健診の腹囲測定結果では、40～60 代の男性の受診者の約 47%が腹囲 85cm 以上となっていた。女性の 40～60 代の受診者では、腹囲 90cm 以上の者は年齢が上がるごとに増えていて、女性受診者の約 15%となっていた。

*内臓脂肪型肥満の基準は、 $\text{BMI} = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)}^2}$ から導き出される BMI が 25 以上、腹囲 (ウエスト) が男性で 85cm 以上、女性で 90cm 以上ある場合です。

〔表 18〕 腹囲測定結果の状況

	年代	85cm 未満	85～89cm	90～94cm	95～99cm	100cm 以上	男 ≥ 85cm	割合
							女 ≥ 90cm	
男性	40代	49人	21人	14人	7人	4人	46人	48.4%
	50代	60人	→ 32人	15人	14人	5人	66人	52.4%
	60代	293人	112人	82人	30人	16人	240人	45.0%
	計	402人	165人	111人	51人	25人	352人	46.7%
女性	40代	74人	9人	7人	3人	5人	15人	16.9%
	50代	163人	31人	11人	9人	6人	26人	13.8%
	60代	456人	99人	→ 48人	24人	15人	87人	16.0%
	計	693人	139人	66人	36人	26人	128人	15.6%

(資料：健診データ)

(3) 未受診者数及び未受診者の受診率

平成 23 年度から未受診者に対する取り組みとして、未受診者のうち約半数に対し再び案内を送付して受診の希望を募ったところ、再案内をした者のうちの 5～6%の者が受診をした。未受診者全体の 3～4%となっていた。

〔表 19〕 未受診者の状況

	H23	H24
未受診者数	2,870人	3,076人
未受診者への再通知数	1,439人	2,113人
受診者数	95人	121人
受診率	3.3%	3.9%

(資料：実績)

(4) 特定健診の現状のまとめ

特定健診の現状を見ることで、以下の点が確認できた。

- ・年々受診率は上昇しているものの、目標値との差は大きい。
- ・山梨県の平均受診率と比較すると高い受診率となっている。
- ・男性より女性の方が受診率が高い。
- ・未受診者に対する取り組みを行っているが、かなり低い受診率となっている。案内を送付するだけでなく、個別訪問や電話等による勧奨が必要か。



特定健診受診率の向上 (未受診者対策)

6. 特定保健指導の現状

(1) 実施率の推移

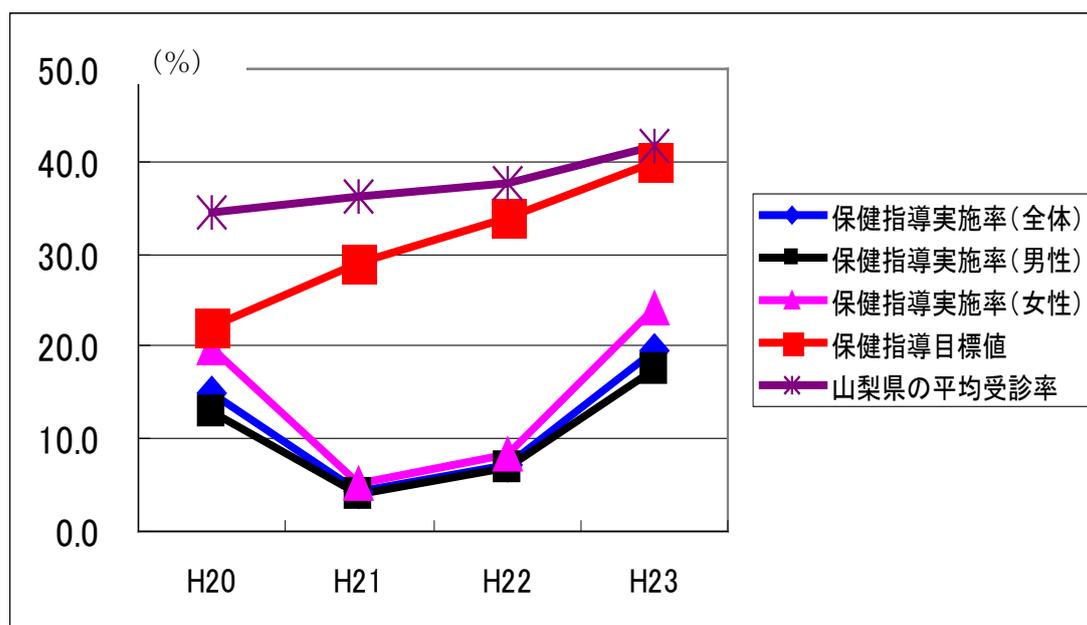
いずれの年度においても、男性・女性ともに目標値や山梨県の実施率（平均値）との差が大きい。

〔表 20〕 年度別実施率等の状況

			H20	H21	H22	H23	参酌標準
積極的支援	対象者	全体	96人	84人	88人	90人	
		男性	77人	69人	72人	68人	
		女性	19人	15人	16人	22人	
	利用者	全体	22人	2人	11人	19人	
		男性	18人	2人	9人	12人	
		女性	4人	0人	2人	7人	
	終了者	全体	19人	0人	10人	8人	
		男性	15人	0人	8人	5人	
		女性	4人	0人	2人	3人	
	実施率	全体	19.8%	0.0%	11.4%	8.9%	
		男性	19.5%	0.0%	11.1%	7.4%	
		女性	21.1%	0.0%	12.5%	13.6%	
動機づけ支援	対象者	全体	159人	171人	173人	173人	
		男性	102人	107人	117人	120人	
		女性	57人	64人	56人	53人	
	利用者	全体	25人	17人	9人	52人	
		男性	14人	11人	5人	33人	
		女性	11人	6人	4人	19人	
	終了者	全体	19人	11人	9人	43人	
		男性	8人	7人	5人	28人	
		女性	11人	4人	4人	15人	
	実施率	全体	11.9%	6.4%	5.2%	24.9%	
		男性	7.8%	6.5%	4.3%	23.3%	
		女性	19.3%	6.3%	7.1%	28.3%	
特定保健指導実施率	全体	14.9%	4.3%	7.3%	19.4%	45%	
	男性	12.8%	4.0%	6.9%	17.6%		
	女性	19.7%	5.1%	8.3%	24.0%		
目標値			22%	29%	34%	40%	
山梨県の実施率			34.5%	36.1%	37.6%	41.7%	

(資料：健診データ)

〔図 17〕 年度別実施率と目標値の状況



(2) メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）等に係る減少率

前の年度に特定保健指導対象者で当該年度に特定保健指導の対象でなくなった者の減少率を平成 21 年度から平成 23 年度のデータをみたところ、特定保健指導対象者の減少率は、平成 22 年度は増加したものの平成 23 年度においては減少になっている。特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率は、平成 22 年度は減少したものの平成 23 年度は増加となっている。

〔表 21〕 年度別実施率等の状況

	内 容	男性	女性	計
H21	今年度の特定保健指導の対象者数	176 人	79 人	255 人
	前年度の特定保健指導の対象者数	172 人	71 人	243 人
	上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者	33 人	16 人	49 人
	特定保健指導対象者の減少率 (%)	19.2%	22.5%	20.2%
	今年度の特定保健指導の利用者数	13 人	6 人	19 人
	前年度の特定保健指導の利用者数	30 人	15 人	45 人
	上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者	3 人	6 人	9 人
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (%)	10.0%	40.0%	20.0%

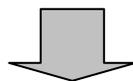
	内 容	男性	女性	計
H22	今年度の特定保健指導の対象者数	189 人	72 人	261 人
	前年度の特定保健指導の対象者数	168 人	77 人	245 人
	上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者	32 人	19 人	51 人
	特定保健指導対象者の減少率 (%)	19.0%	24.7 人	20.8%
	今年度の特定保健指導の利用者数	14 人	6 人	20 人
	前年度の特定保健指導の利用者数	12 人	6 人	18 人
	上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者	1 人	1 人	2 人
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (%)	8.3%	16.7%	11.1%
	H23	今年度の特定保健指導の対象者数	188 人	75 人
前年度の特定保健指導の対象者数		175 人	70 人	245 人
上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者		31 人	13 人	44 人
特定保健指導対象者の減少率 (%)		17.7%	18.6%	18.0%
今年度の特定保健指導の利用者数		45 人	26 人	71 人
前年度の特定保健指導の利用者数		10 人	6 人	16 人
上記のうち今年度特定保健指導の対象者でなくなった者		1 人	1 人	2 人
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (%)		10.0%	16.7%	12.5%

(資料：健診データ)

(3) 特定保健指導の現状のまとめ

特定保健指導の現状を見ることで、以下の点が確認できた。

- ・ 特定保健指導の対象者は 255 人（平成 21 年度）、261 人（平成 22 年度）、263 人（平成 23 年度）と年々増加している。
- ・ 特定保健指導の実施率は、目標値や県実施率（平均値）と比較すると大きく下回っている。
- ・ 特定保健指導により改善した者は、9 人（平成 21 年度）、2 人（平成 22 年度）、2 人（平成 23 年度）となっている。
- ・ 特定保健指導を受けずに改善した者も、49 人（平成 21 年度）、51 人（平成 22 年度）、44 人（平成 23 年度）となっている。
- ・ 新たに特定保健指導の対象となった者は、12 人（平成 21 年度）、16 人（平成 22 年度）、18 人（平成 23 年度）と増加傾向にある。特に、男性の新規者が増えており、平成 21 年度は 4 人であったものの平成 22 年度は 21 人、平成 23 年度は 13 人となっている。



特定保健指導の向上（対象者への周知対策）

7. 中央市のまとめ

- 国保の医療費のうち大きな割合を占めているのは、第1位「新生物」、第2位「消化器系の疾患」、第3位「循環器系疾患（高血圧性疾患）」であり、がん対策・虫歯対策・生活習慣病対策が大きな課題といえる。
- 特定健診受診者のうち、血圧・脂質・血糖などの生活習慣病の治療に係る薬剤を服用している割合は49.5%にも達していることから、生活習慣病対策は急務といえる。
- 特定健診の受診率は、年々上昇しているが目標値との間には差がある。女性の受診率は目標値を上回っているが、男性の受診率は目標値より低いため、男性を中心とした受診率向上の対策が必要である。
- 特定保健指導の実施率は、男女ともに県平均や目標値と比較すると大きく下回っている。この特定保健指導は、内臓脂肪の蓄積が認められる者等に対して実施され、生活習慣病の発症が抑えられることから、最重点課題と捉え積極的に取り組む必要がある。

8. 特定健診・特定保健指導の実績

第一期実施計画の目標値と実績

		H20	H21	H22	H23	H24
特定健診	中央市 目標値	35%	40%	43%	45%	65%
	中央市 受診率	38.3%	40.6%	41.4%	43.5%	—
	山梨県 受診率	34.7%	36.5%	37.5%	37.6%	—
特定保健指導	中央市 目標値	22%	29%	34%	40%	45%
	中央市 受診率	14.9%	4.3%	7.3%	19.4%	—
	山梨県 受診率	34.5%	36.1%	37.6%	41.7%	—
メタボリック シンドローム の該当者・予備 群の減少率	中央市 目標値					10%減 H20年度比
	中央市 実績値					

「メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率」については、国が示す計算式が未確定のため、「メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合」を参考実績とした。

(参考実績)

		H20	H21	H22	H23	H24
メタボリック シンドローム の該当者・予備 群の割合	中央市 実績値	23.5%	22.7%	22.8%	23.4%	—